

第6学年2組 社会科 学習指導案

単元名：わたしたちの声を議会に！！

「わたしたちのくらしと政治」

男子 19 名 女子 19 名 計 38 名

指導者 高木 和希

単元について

○単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説社会編第6学年「内容(2)」の「我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。」の「ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受けて設定したものである。

3学期に学習を行う単元であるが、夏休みに行われる「海田町こども議会」や総合的な学習の時間「海田東小発未来をえがく」の学習で行う「かいた七夕さん」の取組と関連させるために、この時期に学習を設定した。

本単元では、自分たちの願いを実現するためには、政治の働きが大切であること、自治の働きが政治と共に大切であることを思考し理解することができるように、国の政治を取り上げ、その後、海田町の政治、自治活動について取り上げる。そして、海田町の問題点や将来像について、調べたことや社会的事象の意味について広い視野から考える力をつけるために「こども議会提案書」にまとめさせる。

具体的には、海田町の制度や役場・議会の働きについて調べることを通して、町民の願いを実現するために様々な事業を行っていることを考えさせる。また、子育て支援にかかる費用は、予算をもとに事業を進めていることや税金の意味を考えさせる。国会・内閣・裁判所の働きを取り上げ、三権分立の仕組みをもとに政治を行っていることを理解させ、国のくらしを支える仕組みであることをおさえる。さらに、政治の働きの大切さと共に、海田町の課題を解決していこうとする自治活動の大切さを理解させ、魅力ある町づくりに関わろうとする態度を育てることをねらいとしている。

総合的な学習の時間では、地域住民がボランティアで行っている「かいた七夕さん」に自分たちにもできる取組を考え、自治活動の大切さを体験的に学んでいく。地域住民とのつながりの大切さに気づき、地域の一員として「これからも自分たちができることをしてみたい」という願いをもたせたい。

○児童観

本学級の児童は、地域における生活経験も豊かになり、地域の出来事や行事を話題にし、海田町に魅力を感じている。国の政治に関しては、首相の名前は全員言えるが、政治関連のニュースの内容を理解したり、新聞やテレビに興味をもって視聴したりする児童は少ない。家庭では、事件などは話題になるが政治の話をするのはほとんどない。地域の政治に関しては、役場や児童館、図書館などの公共施設はよく利用するが、どのような仕事をしているのか、何のためにあるのかは知らない児童が多い。また、祭りや行事に参加する児童は多いが、自治組織が行っていることや目的については知らない。

学習では、写真やグラフなどの資料を活用して、学習する場面を多く設定し、資料を比較したり関連付けたりしながら、自分の考えをもたせるようにしている。総合的な学習の時間では、社会科で学んだ資料の活用の仕方を用いて、自分の考えの根拠をグラフなどの資料を添付したり作成したりして

いる。しかし、友だちの意見を聞いて理解し自分の意見と比べて考えを深めたり広げたりすることや、その考えを伝え合い思考を深めていくことが課題である。また、資料から分かる事実を既習事項や他の資料と関連付けて考えることや表現することにも課題がある。

○指導観

課題設定では、最近のニュースから興味のある話題を取り上げ、政治と国民の生活の結び付きについて考えさせたり、人口減少の問題から自分たちの将来像について話し合い、政治の役割について考えさせたりする。

情報の収集・整理・分析では、国の政治と海田町の政治の仕組みについて取り上げる。国の政治については、ニュースや新聞の話題を取り上げたり、国の政治と自分たちの生活との関連に気付かせたりして、国の政治を身近に感じられるようにしたい。海田町の政治については、最近の事業について資料などで調べたり、町民の願いがどのような事業に結び付いているのかを考えたりする。そして、事業に必要な費用は税金が大きな役割を果たしていることを、資料を調べたりして理解させる。

自治活動の大切さについては、総合的な学習の時間で行う「かいた七夕さん」への参加の取組と関連させながら、「地域住民活動ネットワーク」の取組を取り上げ、どのような目的や思いが込められているのかを考えさせ、海田町の地域課題を自分たちで解決していく取組の大切さに気付かせる。「かいた七夕さん」実行委員の方の話や海田広報誌、海田町の資料（アンケートや事業の取組）を活用し、政治と自治のそれぞれの役割を比較しながら、地域住民の願いを実現するための取組の必要性について、意見を交流させながら考えを深めさせる。また、自治の役割を理解することで、住みよい町づくりに関わろうとする態度を育てたい。

日本の人口減少は今日の課題であるが、海田町は住民の願いを実現するために、政治や自治活動の取組を充実させることで、海田町が魅力ある町になり人口が減少しないと児童は考えている。そこで海田町の問題点や将来像を「こども議会提案書」にまとめることで、海田町を再発見し魅力ある町づくりについて考えさせる。

単元の目標及び内容について

- 地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、資料を活用しながら意欲的に調べ、考えながら課題を追究しようとする。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象の資料を活用したりして調べるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることや政治と共に自治活動が大切であることを考え、適切に表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- 地方公共団体や国の政治の働きについて、適切な資料を効果的に活用して調べ、「こども議会提案書」にまとめることができる。 【観察・資料の活用の技能】
- 地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、また政治と共に自治が大切であることを理解することができる。 【社会的事象についての知識・理解】

単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料の活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
国民生活の安定と向上を図る地方公共団体や国の政治のはたらきに関心をもち、進んで調べたり考えたりしようとする。	地方公共団体や国の政治は国民生活と密接な関係をもっており、国民の生活の安定と向上を図るために大切なはたらきをしていることを考えている。	様々な資料を活用するなどして、国民生活には地方公共団体や国の政治のはたらきが反映していることを調べ、その結果や考えたことを提案書にまとめ表現している。	地方公共団体は、地域の実態や住民の願いを取り入れながら、長期的な見通しを立て、協力して望ましい町づくりに取り組んでいることを理解している。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・「こども議会提案書」作成に向けて、海田町の問題点や将来像について、資料や集めた情報を整理する中で、海田町を再発見し魅力ある町づくりを目指すために考えようとしている。	・「こども議会提案書」作成に向けて、資料や集めた情報を整理し、魅力ある町づくりについて考えようとしている。
【思考力】	・「こども議会提案書」作成のために、必要な情報をよく吟味し、関連付ける中で自分の考えを深めている。	・「こども議会提案書」作成のために、必要な情報を関連付ける中で自分の考えを深めている。
【自己理解】	・海田町を再発見することを通して、自分の夢や願いを「こども議会提案書」に織り交ぜながら、地域を大切にしようとするこの大切さに気付いている。	・海田町を再発見することを通して、自分の夢や願いを「こども議会提案書」に織り交ぜながら、地域を大切にすることの大切さに気付いている。

指導と評価の計画

全 14 時間

次	時	学習内容	評 価					
			関	思	観	知	評価規準	評価方法
一	1	<p>課題の設定 (2)</p> <p>○国民は様々な願いをもって生活していることを資料を活用して話し合い、人々の願いと政治のはたらきとのつながりに関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近のニュースから興味のある話題を取り上げ、政治と国民の生活の結び付きについて考える。 ・日本の人口減少の問題から、自分たちの将来像について話し合い、政治の役割について関心をもつ。 <p>○学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海田町の人々の願いを実現するためには、政治がどんな役割をしているのかを考え、本単元の学習課題を設定する。 		○			<ul style="list-style-type: none"> ・国民や海田町の住民の願いを実現するために、政治はどんな働きをしているのか考えている。 	行動観察 ノート
	2	<p>○「こども議会提案書」について考え、学習の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海田町の問題点や将来像について提言することを知る。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・「こども議会提案書」を書くことに関心をもち、提案書の内容や付けたい力について考えようとしている。 	発言 ノート	
二	3	<p>情報の収集・整理・分析 I (3)</p> <p>○国会や選挙に関する資料を調べ、国会のしくみやはたらき、選挙の役割について、分かったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治は国民の願いを実現し、国民生活の安定と向上を図るために大切なはたらきをしていることが分かる。 ・選挙は国民や住民の代表者を選出する大切なしくみであることが分かり、選挙権の大切さについて考える。 				○ <ul style="list-style-type: none"> ・国会は、国民の願いに基づいて国の政治について話し合っていること、国会議員は、選挙で選ばれていることを理解している。 	発言 ノート	
	4	<p>○内閣に関する資料を調べ、内閣のしくみやはたらきについて、わかったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律や予算をもとに政治を行っていることが分かる。 <p>○裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所のはたらきについて、わかったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・争いごとの解決や罪のあるなしを決めたり、法律や政治などの憲法違反を判断したりするはたらきが分かる。 				○ <ul style="list-style-type: none"> ・内閣は、総理大臣が中心となって、国の仕事を進めていることを理解し、裁判所は、法律に基づいて、様々な問題を解決し、国民の権利を守る仕事をしていることを理解している。 	発言 ノート	
	5	<p>○学習したことをもとに、国会・内閣・裁判所の関係について図にまとめる。国の政治のはたらきについてわかったこと、考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所はそれぞれが立法権、行政権、司法権をもち、相互に関連し合って政治を行っていることを関係図で表し、考えをまとめる。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを基に国会、内閣、裁判所の役割を関係図にまとめている。 	ワークシート	

次	時	学習内容	評 価					
			関	思	観	知	評価規準	評価方法
三	6	<p>情報の収集・整理・分析Ⅱ（５）</p> <p>○公共事業は、町民のどのような願いを取り入れ、どのような取組が行われているのか、資料をもとに調べる。</p> <p>・「広報かいた」活用して、平成 28 年度と平成 29 年度の事業について知る。</p> <p>・「海田町の将来人口に関するアンケート調査」を活用して、町民の願いがどのような事業に結びついているのかを調べる。</p>			○		・公共事業は、町民の願いをもとに行われていることを調べている。	発言 行動観察 ノート
	7 ・ 8	<p>○海田町役場や町議会の資料を活用して、海田町役場や町議会のはたらきについて調べる。②</p> <p>・海田町役場の役割を知り、町民の願いを実現するためにどのようなはたらきをしているかを知る。</p>			○		・町民の願いを実現するための、町議会や町の政治の働きを調べまとめている。	発言 ノート
	9	<p>・議会は選挙で選ばれた議員によって運営されていることを知り、選挙を通して政治に参加することの大切さを考える。</p>			○		・選挙で投票することは、願いを実現するために政治に参加する大切な役割であることを考えている。	発言 ノート
	10	<p>○保育所再整備事業（3 保育園の統合）や子育て支援にかかる費用は、どこから出ているのか、資料をもとに税金の役割を調べる。</p> <p>・予算をもとに事業を進めていることやその費用は税金が使われていることを知る。</p> <p>・海田町の平成 29 年度予算について調べ、町民の願いがどのように予算に反映されているのかを知る。</p>			○		・町民の願いを実現させるために、税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して読み取っている。	発言 ノート
	11	<p>○海田町住民活動ネットワークの取組について資料をもとに調べる。</p> <p>・暮らしやすい町にするために取り組んでいることについて調べ、自分たちの願いを実現するためには政治のはたらきと共に自治が大切であることを考える。 【本時】</p>			○		・海田町住民活動ネットワークが、暮らしやすい町にするために取り組んでいることについて資料で調べ、政治の働きと共に自治活動が大切であることについて考え表現している。	発言 ノート
	12	<p>まとめ・創造・表現（２）</p> <p>○暮らしやすい海田町にするための「子ども議会提案書」を、既習内容や生活経験をもとに考える。</p> <p>・近い将来人口 3 万人を超える町にするためには、どのような事業を実現する必要があるかを考える。</p>			○		・暮らしやすい海田町にするための提案書を考えている。	ワークシート 行動観察

次	時	学習内容	評 価					
			関	思	観	知	評価規準	評価方法
四	13	振り返り（２） ○完成した「こども議会提案書」の交流を行う。 ・作品を読み合い、友だちの願いを知り、意見を交流する。	○				・ 願いやものの見方や考え方と関連付けながら提案書を読もうとしている。	発言
	14	学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・「こども議会提案書」作成を通して、考えたことを話し合い、自己の見方や考え方の高まりに気付く。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。	○				・ 自分の物の見方や考え方の変容や自らの学びや学び方を振り返ろうとしている。	発言 行動観察 ワークシート

本時の学習

（１）本時の目標

- 自分たちの願いを実現するためには、政治の働きと共に、地域の自治活動が大切であることを考えることができる。

（２）本時の評価規準

- 海田住民活動ネットワークが取り組んでいることについて資料をもとに調べ、自分たちの願いを実現するためには、政治の働きと共に、地域住民が自分で考え実行することが大切であることを考えている。

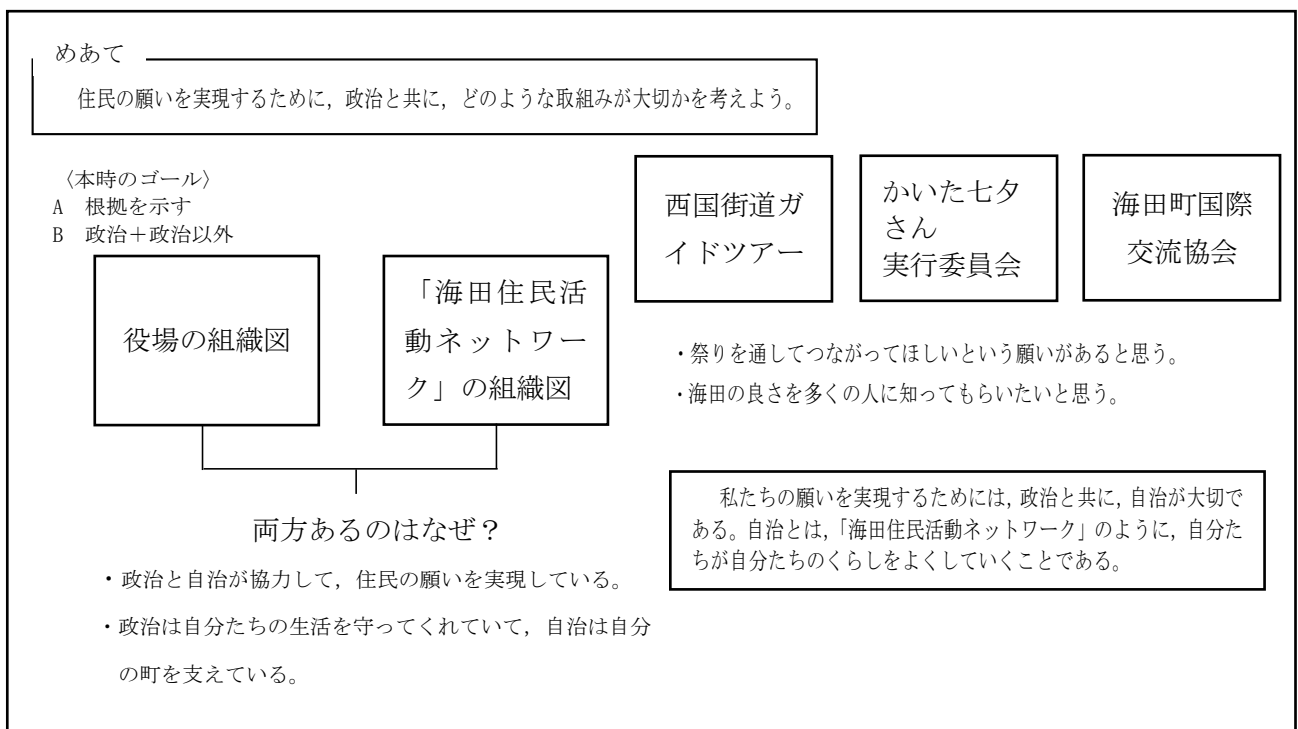
【社会的な思考・判断・表現】

(3) 本時の学習展開 (11 時間目 / 全 14 時間)

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力</p>
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>住民の願いを実現するために、政治と共に、どのような取組みが大切かを考えよう。</p> </div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>本時のゴールの見通し</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A：政治の役割を理解し、根拠を明確に示しながら、政治以外に住民の願いを実現するために必要なことを考えている。</p> <p>B：政治の役割を理解し、政治以外に住民の願いを実現するために必要なことを考えている。</p> </div> <p>2 「海田住民活動ネットワーク」の取組みを調べ、取組みの目的を考える。</p> <p>○「海田住民活動ネットワーク」は、何のために取組みをしているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕まつりは、毎年人がたくさん集まっている。祭りを通してつながってほしいという願いがあると思う。 ・海田市まつりは、他の町の人にも来てもらって、海田の良さを多くの人に知ってもらいたいと思う。 <p>3 「自治」の意味を考える。</p> <p>○なぜ、政治と自治の両方があるのか考えよう。</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>□思考の場の工夫 関連付ける 住民の願いの実現と政治と自治の役割をつなげながら考えている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・政治と自治が協力して、住民の願いを実現している。 ・政治でできにくいところを自治が行っている。 ・政治は自分たちの生活を守っていて、自治は自分の町を支えている。 	<p>◇町の政治は、願いを実現し、暮らしをよりよくしてくれていることを確認する。</p> <p>◇海田町役場と「海田住民活動ネットワーク」の組織を比較し、「海田住民活動ネットワーク」は全て住民であることを確認する。</p> <p>◇「海田住民活動ネットワーク」の取組みの特徴に気付かせる。</p> <p>◇既習の町の政治と海田住民活動ネットワークとの違いを、組織図や取組みから考えさせる。</p> <p>◇政治には限界があり、より細かい願いをかなえるためには、町民が協力して願いをかなえる取組みを進めていくことが大切であることに気付かせる。</p> <p>◆自分たちのことは自分たちで考えていくことが「自治」であることに気付かせる。</p>	<p>◎自分たちの願いを実現するためには、政治の働きと共に、自治の働きが大切であることを考えている。</p> <p>〔社会的な思考・判断・表現〕(発言・ワークシート)</p>

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
4 本時の学習のまとめをする		
★めざす児童の姿 私たちの願いを実現するためには、政治と共に、自治が大切である。自治とは、「海田住民活動ネットワーク」のように、自分たちが自分たちの暮らしをよくしていくことである。		
	◇次時は「こども会議提案書」を作成することを伝える。	

(4) 板書計画



〈参考〉「学びのモニタリング」

学びのモニタリング

わたしたちの声を議会に！「わたしたちのくらしと政治」

主体性・・・アクションを起こす力

「こども議会提案書」作成するために、海田町を再発見し魅力ある町づくりについて考えることができた。

- 5 5歳児
- 4 4歳児
- 3 3歳児
- 2 2歳児
- 1 1歳児

思考力・・・考えて動く

「こども議会提案書」作成のために、必要な情報を関連付けて、自分の考えを深めることができた。

- 5 5歳児
- 4 4歳児
- 3 3歳児
- 2 2歳児
- 1 1歳児

自己理解・・・自分のよさや成長に気付く力

海田町を再発見することを通して、夢や願いを「こども議会提案書」に書き、地域を大切にしようとする気持ちに気付くことができた。

- 5 5歳児
- 4 4歳児
- 3 3歳児
- 2 2歳児
- 1 1歳児

これまでの自分の社会科の学習と比べながら学習を振り返りましょう。